

## 令和4年度事業実施報告

新型コロナウイルス感染症は3年以上にわたり、県民の命と健康を脅かし、社会経済活動の全般にわたって停滞を余儀なくされ、障がい者スポーツにも多大な影響を受けてきました。

こうした厳しい状況の中、公益財団法人として、公益性や透明性の確保し、障がい者スポーツの普及振興と障がい者スポーツに対する県民等の応援や支援の輪を広げるため、令和4年度は、加盟競技団体への支援や選手の育成強化を継続的に取組むとともに、長野車いすマラソン大会や協会の独自事業である「キッズダンス」や「ウインターキャンプ」を開催する等、積極的な事業展開に努めてきました。

### I 協会の運営

#### 1 会議の開催

理事会	第1回:令和4年6月9日、第2回:令和4年7月15日、 第3回:令和5年3月16日
評議員会	第1回:令和4年6月24日、第2回:令和5年3月16日
普及強化委員会	令和4年6月24日 (部会)令和5年2月21日

#### 2 会員の拡大

協会の健全な発展のために、県民の障がい者スポーツに対する意識の高揚とスポーツ振興を図る目的で、広く県民から賛助会員を募りました。

【会員の状況(令和5年3月末現在)】

区	分	会員数
賛助会員	個人	145名
	団体	104団体

### II 事業の実施

#### 1 障がい者スポーツ大会の開催事業

第22回長野県障がい者スポーツ大会	県と共催	令和4年9月19日、25日	長野市、飯田市 他で分散開催	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
-------------------	------	---------------	-------------------	----------------------

#### 2 長野車いすマラソン大会事業

令和4年4月17日(日)に開催された第18回長野車いすマラソン大会の事務局運営、大会運営を行いました。

大会には37名がエントリーし35名の選手が出走、快晴・気温7℃・微風の中、熱いレースが繰り広げられ、31名の選手が完走されました。全国の車いすマラソンが新型コロナで中止が続く中、大会が開催されたことに対して選手からは感謝の想いが寄せられるとともに、久しぶりに集う仲間との

親睦を深める光景が広がる大会となりました。

今回は、新型コロナ対策が大きな課題でした。スタート地点の密を避けるために募集定員を 30 名と例年の 6 割程度とし、スタート時間を繰り上げるなどしたほか、全選手への抗原検査や、全大会運営スタッフに対しても事前健康チェックを実施する等、長野マラソンと連携して対策を徹底しました。

また、障がい者スポーツへの理解促進を図るため、長野車いすマラソンクラブにご協力をいただき、車いすアスリート講師 3 名を派遣し、8 か所で講演会を開催しました。

### 3 全国大会への選手団派遣事業

(1) 令和4年 10 月 29 日～31 日に栃木県で開催された第 22 回全国障害者スポーツ大会へ、長野県選手団として選手(44 人)・役員(39 人)、計 83 人を派遣しました。

個人競技	陸上、水泳、卓球、アーチェリー フライングディスク、ボウリング、ボッチャ	選手 34 人、役員 35 人
団体競技	バスケットボール(男子)	選手 10 人、役員 4 人

長野県選手の成績は、金メダル 10 個、銀メダル 11 個、銅メダル 8 個の計 29 個を獲得し、大会新記録(水泳)を樹立するなど健闘しました。コロナ禍にあっても選手団派遣事業を安全に実施するため、県の協力を得て感染症対策を独自に作成する等、様々な工夫をしました。

(2) 全国大会出場者の競技力向上のため、第 22 回全国障害者スポーツ大会の個人競技種目選手を対象として、長野県障がい者福祉センター(サンアップル)等を会場に、5月 28・29 日と 10 月 8・9 日の 2 回、強化練習・記録会を実施しました。

(3) 令和 5 年の特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に向けた個人競技の代表選手選考については、第 22 回長野県障がい者スポーツ大会が開催されなかったことから、競技団体等のご協力を得て、当協会が独自に選手選考記録会を開催することとしました。

選考記録会は、陸上・フライングディスク・卓球・アーチェリーの 4 競技は 10 月 2 日、11 月 3 日、28 日の 3 日間にわたって実施したほか、水泳・ボウリング・ボッチャの 3 競技については、参加した大会の記録提出や各競技団体に記録計測により行い、合計 113 名の選手が参加しました。

### 4 全国大会のブロック予選会(団体競技)への派遣事業

第 22 回全国障害者スポーツ大会の北信越・東海地区予選会へ選手役員を派遣し、バスケットボール男子(知的障がい者)が優勝・全国大会へ出場権を獲得しました。

種目	開催日	開催場所	選手役員数	成績
車いすバスケットボール	ブロック予選は行わず抽選			参加見送り
グランドソフトボール (視覚障がい者)	5月 29 日	新潟県上越市	—	参加見送り
バレーボール 女子	5月 14 日	新潟県聖籠町	—	参加見送り

(聴覚障がい者)				
バスケットボール男子 (知的障がい者)	6月18日～19日	岐阜県岐阜市	15人	優勝
バスケットボール女子 (知的障がい者)	6月18日～19日	岐阜県岐阜市	15人	準決勝で愛知県に敗退
サッカー (知的障がい者)	5月14日～15日	静岡県袋井市	20人	初参加 5位/5チーム
フットソフト (知的障がい者)	5月14日～15日	静岡県袋井市	—	参加見送り
バレーボール (精神障がい者)	6月11日～12日	三重県伊勢市	15人	3位 準決勝で福井県に敗退
野球 (ろうあ者体育大会)	5月27日～29日	富山県高岡市	—	参加見送り

## 5 地域コーディネーター活動事業

障がい者が身近な場所で運動・スポーツに参加できる機会の拡大とスポーツを通じた共生社会づくりを強力に推進し地域のスポーツ団体等の相互連携の調整役を担う「地域コーディネーター」を設置して6年が経過しました。

令和4年度は、次の業務に加え、みらいアスリートディレクターとともに、2028年に長野県で開催が予定されている全国障害者スポーツ大会に向け、アスリートの発掘・育成に取り組み、着実な進展を図ることができました。

- ・障がい者に、運動・スポーツの喚起(ボッチャの普及)や必要な人に必要な情報の提供
- ・一般スポーツ団体等に、参加受入の開拓、相談、指導者紹介、地域の支援者ネットワークづくり

### 【令和4年度実績】

- ① 訪問 84件(市町村、福祉施設、学校(養護舎)、企業等)、②相談 425件、③関係会議 23件、④体験会 67件(学校、福祉施設等)

## 6 みらいアスリート育成支援事業

2028年に長野県で開催される予定の全国障害者スポーツ大会で本県選手が活躍できるよう、みらいアスリートディレクターを配置し、松本市の長野県体育センターを拠点に、長野県内の学校等でパラスポーツ体験会等を開催しながら才能あるアスリートの発掘を行うとともに、地域コーディネーターと連携して練習の場の提供、指導者との結び付けなどを行っています。

令和4年度は、長野県内で活動しているチームがない団体競技に重点を置き、選手の発掘と競技力向上に取り組み、バレーボール競技(知的障がい)について、長野県バレーボール協会の協力を仰ぎ、同協会に特別委員会が設置されて選手発掘・体験会を開催するなど、取組が進展しました。

### 【令和4年度実績】

- ① 訪問 136 件(市町村、福祉施設、学校(養護含)、企業等)、②相談 133 件、③関係会議 17 件、④体験会 140 件(学校、福祉施設等)

#### 7 障がい者スポーツ指導者養成事業

県からの委託を受け、初級障がい者スポーツ指導員を養成するため、令和4年 11 月 26～27 日、12 月3日～4日の4日間、東御市ふれあい体育館で研修会を開催しました(終了者 30 名)。

#### 8 競技団体支援事業

協会加入競技団体(29 団体)を対象に、各団体の選手育成強化及び活動促進するため、令和4年度は 19 団体を対象として事業を実施しました。内訳は以下の通りです。

強化練習事業	選手強化を目指すための事業に対し助成	11 団体
選手派遣等事業	全国大会等への選手派遣事業に対し助成	12 団体
用具整備事業	共用の競技用具の購入に対して助成	7 団体
競技普及事業	競技普及、指導者・選手養成の事業に対し助成	6 団体
大会開催事業	各競技の大会開催事業に対し助成	4 団体

#### 9 パラアスリート育成支援事業

本県関係選手がパラリンピックやデフリンピックをはじめとする国際大会及び全国大会で活躍できるよう、また、全国障害者スポーツの 2028 年の本県での開催を見据え、有望選手に対し競技団体を通じて支援しました。

##### 【令和4年度支援選手】

補助対象競技団体名	支援選手名	
障がい者水泳クラブウルトラ☆スターズ	5名	前川直輝、畑遼一、池本夏綺 一ノ瀬篤弥、斎藤剛
(公社)スペシャルオリンピックス日本・長野	6名	石山裕太、井上友博、山本富 望月慎平、武居寛己、古平陸
長野車椅子バスケットボール協会	1名	齋藤聖奈
長野車いすマラソンクラブ	1名	金児知哉
長野県障害者アーチェリー協会	2名	青木辰子、矢口敦也
(社福)長野県聴覚障害者協会	1名	中村晃大
長野県パラ水泳協会	3名	中東郁葉、小祝千果、木下翔平
長野スレッジスポーツ協会	6名	吉川守、熊谷昌治、新津和良 塩谷吉寛、熊谷将吾、織田朋憲
計(8競技団体)	25名	

#### 10 スポーツ用具等の整備

平成4年度限りとして実施された、「障がい者スポーツ実施環境の構築支援事業(日本パラスポーツ協会補助)」を活用して、5競技団体を支援しました。

競技団体名	用 具
(公社)スペシャルオリンピックス日本・長野	フロアボール公式リンク等
長野県 FID バasketボール連盟	デジタルタイマー等
長野車椅子Basketボール協会	Basketボール用車いす等
(社福)長野県視覚障害者福祉協会	卓球台(STT 用)
長野県ブラインドサッカー協会	ブラインドサッカー用サイドフェンス等

## 11 地域スポーツ活動支援事業

### (1) キッズ支援事業

障がいを持つ子ども達を対象に、スポーツを通じて、心身の健康づくりと同世代の子どもたちとの交流を図ることを目的として、ウインターキャンプやチアダンス教室を開催するとともに、指導員派遣によるスポーツ指導を実施しました。

事業内容		開催日	参加者数
ウインターキャンプ(スキー体験会 車山高原)		2月18日～19日	11組56名
チアダンス教室(ホワイトリング:FID バスケハーフタイム)		3月19日 (練習:2/26、3/5)	17名と家族計34名
指導員派遣	スキー教室(長野市立昭和小)	1月12日	1名
	スキー教室(長野市立大豆島小)	1月13日	2名
	スキー教室(松本市立山辺小)	1月18日	1名
	スキー教室(長野市立山王小)	1月19日	3名
	スキー教室(長野市立中条小)	1月19日	1名
	スキー教室(高山村立高山小)	1月20日	1名
	スキー教室(長野市立通明小)	2月2日	1名
	スキー教室(長野市立篠ノ井西小)	2月3日	2名
	スキー教室(長野市立共和小)	2月9日	1名
	スキー体験(個人)	2月23日	1名
計 10回			14名

### (2) 障がい者スポーツ指導者派遣事業

年間を通して、障がい者スポーツ指導員を、学校、施設、地域等へ派遣し、障がい者、高齢者等の地域におけるスポーツ活動を通じた健康づくりを支援しました。

### (3) スポーツ用具貸出し事業

年間を通して、協会で所有しているスポーツ用具等を、要望のあった学校、地域へ貸し出して、スポーツ活動を支援しました。

【令和4年度スポーツ用具等貸し出し】

スポーツ用具	回数	主な貸出先
ボッチャ用具	41	障がい者支援事業所、社会福祉競技団体、個人等
バイスキー	11	小学校スキー教室等
スポーツ用車いす	16	サンアップル、障がい者競技団体、スポーツクラブ等
フライングディスク	2	特別支援学校等
その他(シッティングバレー等)	8	公民館、障がい者支援事業所等
計	78	

## 12 障がい者スポーツアスリート講師派遣事業

次代を担う小学生・中学生・高校生等に障がい者スポーツや障がいへの理解を深めてもらうため、障がい者アスリートを小学校・中学校・高校等へ派遣し、講演会、交流会を開催しました。

【令和4年度:講師2名、4か所 派遣先 小・中・高校等】

講師	派遣先	講演内容
奥原 明男さん	木曾町中学校	講演及び車いすバスケットボール体験
奥原 明男さん	駒ヶ根東中学校	講演及び車いすバスケットボール体験
奥原 明男さん	茅野市湖東小学校	講演及び車いすバスケットボール体験
宮澤 隆史さん	伊那東小学校	パラスポーツへの関わり方など

## 13 トップアスリート支援事業

令和4年度は、第24回夏季デフリンピック競技大会に出場するトップアスリート・中東郁葉さん(水泳)に支援金を交付しました。

※ 100m 背泳ぎと1500m 自由形2種目でともに4位入賞

## 14 スポーツ アスリート奨学金

若手アスリートの育成や競技環境を整備するため、サントリーホールディングス(株)が令和4年9月に立ち上げた「サントリーチャレンジド・スポーツアスリート奨学金」の2023年事業に当協会が採択され、平林太一選手(ブラインドサッカー)を支援しています。

## 15 情報発信、PR事業

障がい者スポーツ及び協会の活動に関する情報発信、PR活動を行いました。

(1) 情報提供を行うため、「スポーツ協会だより」を3回発行し関係者に配布しました。

(第51号:令和4年6月発行、第52号:12月発行、第53号:令和5年3月発行)

(2) 協会ホームページにより、年間を通して情報発信をしました。

(3) 年間を通して、大会、講習会等の開催情報や新型コロナ対策の関係情報等を競技団体等に提供しました。

## 16 障がい者スポーツ表彰事業

県内の障がい者スポーツの振興に功績のあった個人・団体を対象に、その功績を称え表彰をしました。

種別	受賞者
功労賞	品 吉治(駒ヶ根市)、久保 聡史(長野市)
特別賞	中東 郁葉(松本市)、中野 林太郎(塩尻市)
奨励賞	平林 太一(松本市)

#### 17 寄附の受領

地域における障がい者スポーツの普及振興やキッズ支援等、協会の独自事業に対してご寄附をいただきました。

日時	ご寄付などをいただいた皆様
7月29日	セイコーエプソン株式会社(寄付)
10月7日	株式会社小石興業(寄付)
10月28日	(一社)生命保険協会长野県協会(寄付)
11月25日	株式会社ナフィアス(寄付+マスク)

※ 八十二銀行「こころのリレー」遺贈寄付の寄付先として、当協会を指定いただいています。

# 決 算 報 告 書

自 令和 4年4月 1日  
至 令和 5年3月 31日

公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会



### 貸借対照表

令和 5年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	32,442,582	33,926,902	△ 1,484,320
未収金	12,000	36,040	△ 24,040
流動資産合計	32,454,582	33,962,942	△ 1,508,360
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,196,646	3,623,611	573,035
車いすマラソン積立資産	2,000,092	1,600,060	400,032
競技力向上等事業準備資金	9,000,069	3,500,000	5,500,069
特定資産合計	15,196,807	8,723,671	6,473,136
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1,496,518	2,682,912	△ 1,186,394
什器備品	6,721,306	1,956,114	4,765,192
保証金	29,430	29,430	0
その他固定資産合計	8,247,254	4,668,456	3,578,798
固定資産合計	23,444,061	13,392,127	10,051,934
資産合計	55,898,643	47,355,069	8,543,574
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	7,564,960	6,140,865	1,424,095
預り金	298,142	267,716	30,426
流動負債合計	7,863,102	6,408,581	1,454,521
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,196,646	3,623,611	573,035
固定負債合計	4,196,646	3,623,611	573,035
負債合計	12,059,748	10,032,192	2,027,556
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
民間助成金	200,000	0	200,000
寄付金	111,690	182,497	△ 70,807
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
指定正味財産合計	311,690	182,497	129,193
2. 一般正味財産	43,527,205	37,140,380	6,386,825
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(11,000,161)	(5,100,060)	(5,900,101)
正味財産合計	43,838,895	37,322,877	6,516,018
負債及び正味財産合計	55,898,643	47,355,069	8,543,574

## 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	136	52	84
事業収益			
受取地方公共団体委託収益	13,236,708	690,000	12,546,708
受取日パラスポ委託収益	6,923,650	0	6,923,650
事業収益計	20,160,358	690,000	19,470,358
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	40,573,943	38,797,531	1,776,412
受取補助金等振替額	300,000	0	300,000
受取補助金等計	40,873,943	38,797,531	2,076,412
受取負担金			
受取負担金	17,089,000	5,440,000	11,649,000
受取寄付金			
受取寄付金	3,412,990	3,341,000	71,990
受取寄付金振替額	70,807	29,503	41,304
受取寄付金計	3,483,797	3,370,503	113,294
雑収益			
受取利息	113	230	△ 117
雑収益	510,311	484,484	25,827
雑収益計	510,424	484,714	25,710
経常収益計	82,117,658	48,782,800	33,334,858
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	19,411,064	18,053,495	1,357,569
退職給付費用	436,653	277,469	159,184
福利厚生費	2,532,932	2,376,810	156,122
旅費交通費	10,931,832	1,643,391	9,288,441
通信運搬費	1,047,668	910,850	136,818
減価償却費	2,487,475	1,664,478	822,997
消耗什器備品費	1,323,704	1,222,013	101,691
消耗品費	5,149,430	2,866,412	2,283,018
修繕費	168,176	95,084	73,092
印刷製本費	1,507,015	925,342	581,673
燃料費	465,290	355,907	109,383
光熱水料費	240,389	143,650	96,739
賃借料	1,122,465	1,150,560	△ 28,095
保険料	445,199	326,049	119,150
諸謝金	1,134,200	632,100	502,100
租税公課	31,400	19,600	11,800
支払負担金	1,348,000	30,000	1,318,000
支払助成金	7,025,800	5,528,200	1,497,600
委託費	10,711,626	1,475,935	9,235,691
支払手数料	90,999	123,217	△ 32,218
雑費	0	33,000	△ 33,000
事業費計	67,611,317	39,853,562	27,757,755

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
役員報酬	42,000	42,000	0
給料手当	4,905,359	4,761,774	143,585
退職給付費用	136,382	86,663	49,719
福利厚生費	743,116	793,453	△ 50,337
交際費	0	52,500	△ 52,500
旅費交通費	135,458	121,539	13,919
通信運搬費	167,055	151,099	15,956
減価償却費	389,137	389,137	0
消耗什器備品費	240,235	0	240,235
消耗品費	228,293	279,367	△ 51,074
修繕費	51,921	18,335	33,586
印刷製本費	51,659	46,664	4,995
燃料費	25,253	31,177	△ 5,924
光熱水料費	83,737	70,115	13,622
賃借料	82,467	82,808	△ 341
保険料	171,730	184,140	△ 12,410
諸謝金	0	1,500	△ 1,500
租税公課	79,150	50,250	28,900
支払負担金	3,120	3,040	80
委託費	25,850	0	25,850
支払手数料	543,540	532,092	11,448
雑費	14,054	0	14,054
管理費計	8,119,516	7,697,653	421,863
経常費用計	75,730,833	47,551,215	28,179,618
評価損益等調整前当期経常増減額	6,386,825	1,231,585	5,155,240
当期経常増減額	6,386,825	1,231,585	5,155,240
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	6,386,825	1,231,585	5,155,240
当期一般正味財産増減額	6,386,825	1,231,585	5,155,240
一般正味財産期首残高	37,140,380	35,908,795	1,231,585
一般正味財産期末残高	43,527,205	37,140,380	6,386,825
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取民間助成金	500,000	0	500,000
受取寄付金			
受取寄付金	0	212,000	△ 212,000
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 370,807	△ 29,503	△ 341,304
当期指定正味財産増減額	129,193	182,497	△ 53,304
指定正味財産期首残高	182,497	0	182,497
指定正味財産期末残高	311,690	182,497	129,193
III 正味財産期末残高	43,838,895	37,322,877	6,516,018

正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引等 消去	合計
	障がい者スポ ン普及振興事業	車いすマラソン 大会事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
特定資産運用益							
特定資産受取利息	69	32	0	101	35	0	136
事業収益							
受取地方公共団体委託収益	13,236,708	0	0	13,236,708	0	0	13,236,708
受取日プラス委託収益	6,923,650	0	0	6,923,650	0	0	6,923,650
事業収益計	20,160,358	0	0	20,160,358	0	0	20,160,358
受取補助金等							
受取地方公共団体補助金	19,863,846	0	10,375,505	30,239,351	10,334,592	0	40,573,943
受取補助金等振替額	300,000	0	0	300,000	0	0	300,000
受取補助金等計	20,163,846	0	10,375,505	30,539,351	10,334,592	0	40,873,943
受取負担金							
受取負担金	330,000	16,609,000	0	16,939,000	150,000	0	17,089,000
受取寄付金							
受取寄付金	3,412,990	0	0	3,412,990	0	0	3,412,990
受取寄付金振替額	70,807	0	0	70,807	0	0	70,807
受取寄付金計	3,483,797	0	0	3,483,797	0	0	3,483,797
雑収益							
受取利息	0	0	0	0	113	0	113
雑収益	48,000	352,849	0	400,849	109,462	0	510,311
雑収益計	48,000	352,849	0	400,849	109,575	0	510,424
経常収益計	44,186,070	16,961,881	10,375,505	71,523,456	10,594,202	0	82,117,658
(2) 経常費用							
事業費							
給料手当	7,444,443	3,219,201	8,747,420	19,411,064	0	0	19,411,064
退職給付費用	0	0	436,653	436,653	0	0	436,653
福利厚生費	934,545	406,305	1,192,082	2,532,932	0	0	2,532,932
旅費交通費	10,235,080	307,180	389,572	10,931,832	0	0	10,931,832
通信運搬費	597,327	108,081	342,260	1,047,668	0	0	1,047,668
減価償却費	0	0	2,487,475	2,487,475	0	0	2,487,475
消耗什器備品費	831,515	0	492,189	1,323,704	0	0	1,323,704
消耗品費	3,899,260	782,448	467,722	5,149,430	0	0	5,149,430
修繕費	61,800	0	106,376	168,176	0	0	168,176
印刷製本費	635,047	766,131	105,837	1,507,015	0	0	1,507,015
燃料費	413,551	0	51,739	465,290	0	0	465,290
光熱水料費	68,829	0	171,560	240,389	0	0	240,389
貸借料	821,258	132,250	168,957	1,122,465	0	0	1,122,465
保険料	382,771	62,428	0	445,199	0	0	445,199
諸謝金	1,020,200	114,000	0	1,134,200	0	0	1,134,200
租税公課	31,400	0	0	31,400	0	0	31,400
支払負担金	1,318,000	30,000	0	1,348,000	0	0	1,348,000
支払助成金	7,025,800	0	0	7,025,800	0	0	7,025,800
委託費	0	10,711,626	0	10,711,626	0	0	10,711,626
支払手数料	83,189	7,810	0	90,999	0	0	90,999
事業費計	35,804,015	16,647,460	15,159,842	67,611,317	0	0	67,611,317
管理費							
役員報酬	0	0	0	0	42,000	0	42,000
給料手当	0	0	0	0	4,905,359	0	4,905,359
退職給付費用	0	0	0	0	136,382	0	136,382
福利厚生費	0	0	0	0	743,116	0	743,116
旅費交通費	0	0	0	0	135,458	0	135,458
通信運搬費	0	0	0	0	167,055	0	167,055
減価償却費	0	0	0	0	389,137	0	389,137
消耗什器備品費	0	0	0	0	240,235	0	240,235
消耗品費	0	0	0	0	228,293	0	228,293
修繕費	0	0	0	0	51,921	0	51,921
印刷製本費	0	0	0	0	51,659	0	51,659
燃料費	0	0	0	0	25,253	0	25,253
光熱水料費	0	0	0	0	83,737	0	83,737
貸借料	0	0	0	0	82,467	0	82,467
保険料	0	0	0	0	171,730	0	171,730
租税公課	0	0	0	0	79,150	0	79,150
支払負担金	0	0	0	0	3,120	0	3,120
委託費	0	0	0	0	25,850	0	25,850
支払手数料	0	0	0	0	543,540	0	543,540
雑費	0	0	0	0	14,054	0	14,054
管理費計	0	0	0	0	8,119,516	0	8,119,516
経常費用計	35,804,015	16,647,460	15,159,842	67,611,317	8,119,516	0	75,730,833
評価損益等調整前当期経常増減額	8,382,055	314,421	△ 4,784,337	3,912,139	2,474,686	0	6,386,825
当期経常増減額	8,382,055	314,421	△ 4,784,337	3,912,139	2,474,686	0	6,386,825
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	8,382,055	314,421	△ 4,784,337	3,912,139	2,474,686	0	6,386,825
税引前当期一般正味財産増減額	8,382,055	314,421	△ 4,784,337	3,912,139	2,474,686	0	6,386,825
当期一般正味財産増減額	8,382,055	314,421	△ 4,784,337	3,912,139	2,474,686	0	6,386,825
一般正味財産期首残高	0	0	△ 12,078,704	△ 12,078,704	49,219,084	0	37,140,380
一般正味財産期末残高	8,382,055	314,421	△ 16,863,041	△ 8,166,565	51,693,770	0	43,527,205
II 指定正味財産増減の部							
受取補助金等							
受取民間助成金	500,000	0	0	500,000	0	0	500,000
一般正味財産への振替額							
一般正味財産への振替額	△ 370,807	0	0	△ 370,807	0	0	△ 370,807
当期指定正味財産増減額	129,193	0	0	129,193	0	0	129,193
指定正味財産期首残高	0	0	182,497	182,497	0	0	182,497
指定正味財産期末残高	129,193	0	182,497	311,690	0	0	311,690
III 正味財産期末残高	8,511,248	314,421	△ 16,680,544	△ 7,854,875	51,693,770	0	43,838,895

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具、什器備品 …………… 定額法によっております。

#### (2) 引当金の献上基準

退職給付引当金……………職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

#### (3) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
基本財産	0	0	0	0
特定資産				0
退職給付引当資産	3,623,611	573,035		4,196,646
車いすマラソン積立資産	1,600,060	400,032		2,000,092
競技力向上等事業準備資金	3,500,000	7,000,069	1,500,000	9,000,069
小計	8,723,671	7,973,136	1,500,000	15,196,807
合計	8,723,671	7,973,136	1,500,000	15,196,807

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産	0			
特定資産				
退職給付引当資産	4,196,646			4,196,646
車いすマラソン積立資産	2,000,092		2,000,092	
競技力向上等事業準備資金	9,000,069		9,000,069	
小計	15,196,807	0	11,000,161	4,196,646
合計	15,196,807	0	11,000,161	4,196,646

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	5,642,260	4,145,742	1,496,518
什器備品	10,401,150	3,679,844	6,721,306
合 計	16,043,410	7,825,586	8,217,824

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金 クラウドファンディング		182,497		70,807	111,690	— 指定正味財産
助成金 サントリー奨励金	(公社) 日本フイテンソロピ協会	0	500,000	300,000	200,000	指定正味財産
合 計		182,497	500,000	370,807	311,690	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	70,807
目的達成による指定解除額	300,000
合 計	370,807

6 重要な後発事象

該当ありません

**附属明細書**

1 基本財産の増減明細

財務諸表に対する注記2基本財産の増減額及びその残高のとおりである。

2 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,623,611	573,035			4,196,646

財産目録

令和 5年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金額
(流動資産)					
	普通預金	八十二銀行	朝陽支店	運転資金として	26,770,833
		八十二銀行	朝陽支店	運転資金として	1,165,356
	定期預金	八十二銀行	朝陽支店	運転資金として	4,506,393
	未収入金	賛助会費 4件			12,000
流動資産合計					32,454,582
(固定資産)					
特定資産					
	退職給付引当資産	八十二銀行	朝陽支店	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	4,196,646
	車いすマラソン積立資産	八十二銀行	朝陽支店	車いすマラソンの経費の支払いに備えたもの	2,000,092
	競技力向上等事業準備資金	八十二銀行	朝陽支店	全国障がい者スポーツ大会における競技力向上を図るための資金	9,000,069
その他固定資産					
	車両運搬具	エスクァイア 1台 ミニキャブバン 2台		公益目的事業として67.2%、法人本部として32.8%使用している	1,496,518
	什器備品	競技用車いす 3台 ポッチャ補助用具、パイスキー他		公益目的事業財産であり公益目的事業で使用している	6,721,306
	保証金	車両リサイクル預託金		公益目的事業として67.2%、法人本部として32.8%使用している	29,430
固定資産合計					23,444,061
資産合計					55,898,643
(流動負債)					
	未払金	長野県 補助金返納額			5,538,631
		その他			2,026,329
	預り金			3月分社会保険料	210,484
				雇用保険他	87,658
流動負債合計					7,863,102
(固定負債)					
	退職給付引当金	職員に対するもの		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	4,196,646
固定負債合計					4,196,646
負債合計					12,059,748
正味財産					43,838,895

# 監査報告書

公益財団法人 長野県障がい者スポーツ協会  
理事長 奥原 明男 様

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会の事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該公益財団法人の事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該公益財団法人の事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和5年5月25日

公益財団法人 長野県障がい者スポーツ協会

監事 内村 孝英

公益財団法人 長野県障がい者スポーツ協会

監事 草田 智史